

豊明市行政評価制度 「事務事業」評価票

一般事務事業	経常事務事業	建設事務事業
--------	--------	--------

● 第 5 次行政改革大綱第 1 次アクションプランとの関連	
☐ 有	
☒ 無	

1 ■事務事業の概要

1 - 1 事務事業の名称	美術品展示場所の確保事業									
1 - 2 担当	部	教育部	課 又は施設	文化会館	係	文化振興係	評価票作成者	文化振興担当係長 加納 晃		
1 - 3 総合計画における施策の体系	節	教育文化 「個性ある文化と豊かな人間性を育むまちづくり」				基本施策	文化・芸術活動		コード	4—1—2
						単位施策(中)	文化施設の充実		コード	4—1—2—3
	項	生涯学習の推進				単位施策(小)	美術品展示場所の確保		コード	4—1—2—3—1
1 - 4 事務事業の目的の精査	対象と対象の数	展示場所の確保			意図（対象を事務事業によってどのような状態にするのか）		常時展示することによって、一般市民に楽しんで頂く。			
1 - 5 事務事業の内容	文化芸術（絵画、書）等を常時展示する。また、定期的に展示物の飾り替えを行う。									

2 ■事務事業実施の状況

2 - 1 事務事業の実施における基本認識	平成18年度	事務事業実施にあたって心がけた改善の取組み			社会状況等の事務事業がおかれる環境把握			市民ニーズの認識			
	平成19年度	年に一度或いは定期的に展示物の飾り替えを行う。			空きスペースを利用した美術品の展示が必要。			絵画だけでは無く、いろんな分野の美術品の展示が望まれる。			
	平成20年度	〃			〃			〃			
	平成21年度										
	平成22年度										
	平成23年度										
	平成24年度										
	平成25年度										
	平成26年度										
	平成27年度										
	2 - 2 総合計画における単位施策成果指標	事務事業成果指標名				前期目標値(単位)	後期目標値(単位)	指標の説明			
美術品の展示場所				2(ヶ所)	2(ヶ所)	文化会館及び市役所の中の美術品の展示場所を表す指標					
2 - 3 成果指標に係る活動実績とコストの推移（アウトプット分析）	平成 1 8 年度	平成 1 9 年度	平成 2 0 年度	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度	平成 2 4 年度	平成 2 5 年度	平成 2 6 年度	平成 2 7 年度	
	活動実績 a (展示場所)	2	2								
	直接事業費 b (千円)	0	0								
	人件費 c (千円)	670	334								
	合計コスト d (b + c) (千円)	670	334								
単位コスト d / a (千円)	展示場所 当たり 335	展示場所 当たり 167	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり	

アウトプット実績（活動数値）の補足説明



直接事業費は、美術品の展示に当たるだけであるので 0 円となる。人件費は、係担当の年度内の関わりから0.1人の0.5として算定した。6,673千円*0.1*0.5 = 334千円

2 - 4 成果指標に 対応する実績と達 成度の推移											
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	指標対応実 績（単位）	2ヶ所	2ヶ所								
	後期目標値 に対する達 成度（％）	100(%)	100(%)								

3 ■ 事務事業の自己評価結果

3 - 1 評価結果 (アウトカム自己分 析)		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	単年度 担当課評価	A	A								

- 4段階評価結果

A：上位目的である施策に貢献しているので継続する
B：事務事業の実施手法や環境（予算的・人的）に改善が必要
C：縮小等、事務事業としての見直しが必要
D：事務事業の廃止が相当
- 判断の基準

必要性（必要な事務事業であるか）
公共性（公が実施する意味があるか）
妥当性（ニーズに対して投入が適正か）
効率性（結果に至る活動に無駄はないか）
有効性（活動の結果が上位の目的に貢献しているか）
市民満足度（事務事業が対象にしている市民を満足させているか）

3 - 2 評価の内容		今後の環境変化を踏まえた課題認識	次年度に向けて改善する取組み	事務事業の担当課としての単年度の取り組みの自己評価
	平成18年度	美術品展示にかかる空きスペースの確保。	展示する美術品の確保。	定期的に展示物の飾り替えを行った。
	平成19年度	〃	展示する美術品の確保のため、文化協会に協力を得る	〃
	平成20年度			
	平成21年度			
	平成22年度			
	平成23年度			
	平成24年度			
	平成25年度			
	平成26年度			
	平成27年度			

4 ■ 事務事業の総合評価結果

4 - 1 総合評価の 結果		結果	審査会による改善方向の指示
	平成18年度	A	継続して事業を進めること。
	平成19年度	A	継続して事業を進めること。
	平成20年度		
	平成21年度		
	平成22年度		
	平成23年度		
	平成24年度		
	平成25年度		
	平成26年度		
	平成27年度		